



---

誰もが健やかに生き生きとくらせるまちにします

---

- 11. 健康づくり
- 12. 高齢者の福祉・介護の充実
- 13. 障害者福祉の充実
- 14. 安定した社会保障制度の運営
- 15. 生涯学習・生涯スポーツの推進

# 11

## 健康づくり

### [ 課題 ]



- ❑ 健康寿命を伸ばし、生涯にわたっていきいきとくらすためには、住民一人ひとりの心身の健康状態が良好であることが不可欠です。
- ❑ 健康維持・増進には生活習慣病に対して、若い世代から健康づくりに取り組む意識を高めることが重要です。
- ❑ ストレス社会といわれる現代、こころの病気は誰にでも起こりうる可能性があることから、メンタルヘルスの正しい知識の普及と相談機関の周知をはかる必要があります。
- ❑ 住民のニーズの多様化、子どもの健やかな成長、高齢化の進行等に対応できる地域医療の充実が求められています。
- ❑ 社会経済活動や住民生活に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症を教訓として、国・県等の関係機関と連携し、新たな感染症に備えた対策が求められています。また、住民に対しては、日頃から感染症に関する正しい情報や対策を普及啓発することが必要です。

### [ 目標とする姿 ]

すべての世代の住民が自らの健康に関心を持ち、日ごろから心身の健康づくりに取り組んでいます。また、すべての住民が必要な時に適切な医療サービスを受けることができる医療体制が整っています。

さらに、住民が感染症対策に対する正しい知識を持ち、感染症拡大を防止するための体制が整備されています。

### [ 施策体系 ]

- 1.健康づくり活動の推進
- 2.保健・福祉・医療の連携と充実

### [ 政策指標 ]

健康づくりの取組みについての住民満足度指数



## 【主な取組み】

### 1.健康づくり活動の推進

- ①健康寿命を延ばし、より豊かな人生を送るため、食生活、運動習慣やストレス対策など、生活習慣病予防に重点をおいた健康づくりを推進し、住民の意識向上をめざします。
- ②各種ボランティア団体等と連携しながら、住民の自発的な取組みや地域ぐるみでの健康づくりの活動を支援することにより、住民のニーズにあった魅力ある活動を育てます。
- ③住民一人ひとりの心身の健康状態を良好に保ち、健康寿命を伸ばしていきいきとくらせるよう、健康診査\*や各種健診に子どもから大人、高齢者、障害者など誰もが受診しやすい環境を整備し、一人ひとりが健康づくりに関心を持ち、取り組めるよう推進します。
- ④心の健康づくりについては、メンタルヘルスに関する知識の普及に努め、「斑鳩町自殺対策計画」を推進するとともに、専門家による相談や講習会の開催などに取り組みます。

### 2.保健・福祉・医療の連携と充実

- ①健康管理や健康増進がより有効に行えるよう、乳幼児から高齢者までの一貫した健康管理システムを活用します。
- ②保健師や看護師、助産師、健康運動指導士、歯科衛生士、管理栄養士など、保健・医療に携わる専門的な人材の確保や質の向上をはかります。
- ③地域全体が感染症の拡大防止や健康づくりに対する意識を高められるよう、正しい知識や情報を提供するとともに、保健センターサポーター、運動普及ボランティア、食育推進員、母子保健推進員など、各種ボランティアや関係機関と協働した保健活動に取り組めます。
- ④高齢者や障害者などの健康づくりや在宅看護・介護、さらに予防から治療、リハビリまで総合的な対応ができるよう、保健・福祉・医療の連携を強化します。
- ⑤医療体制については、町内医療機関の発展や促進に努めるとともに、休日応急診療体制や高次医療体制の充実をはかるため、県や近隣市町との連携を強め、医療サービスの向上に努めます。
- ⑥新たな感染症に備え、国や県の関係機関と情報共有をはかり、適切かつ迅速な対応に努めます。

基本  
目標  
1基本  
目標  
2基本  
目標  
3基本  
目標  
4基本  
目標  
5基本  
目標  
6基本  
目標  
7重点  
施策資料  
編

# 12

## 高齢者の福祉・介護の充実

### 〔課題〕



- 75歳以上の高齢者や単身高齢者世帯、高齢者のみの世帯が増加するなか、介護予防や健康づくり、生きがいづくり、生活支援など、自立と社会参加を促す福祉サービスのさらなる充実が求められています。
- 高齢化が進む中、認知症高齢者も増加していることから、認知症の早期発見・早期受診や治療、認知症ケアの充実、認知症に対する理解の促進にむけた施策を充実する必要があります。
- 介護が必要な状態や認知症になっても、高齢者一人ひとりが社会を構成する一員として尊重され、いきいきとくらせるやさしさのあるまちづくりを実現するため、地域包括ケアシステム\*の深化・推進が求められています。
- 地域における介護予防や認知症の人に対する支援の担い手確保が求められています。

### 〔目標とする姿〕

高齢になっても住み慣れた地域で、健康で生きがいを持って自立した日常生活を営んでいます。

また、地域の中で支え合い、医療や介護の支援が包括的に確保できる体制が整って、在宅医療と介護の連携が充実しています。

### 〔施策体系〕

1. 高齢者の生きがいづくりの推進
2. 地域包括ケアシステム\*の構築

### 〔政策指標〕

高齢者の自立した生活への支援や介護福祉サービスについての住民満足度指数



## 【主な取組み】

### 1.高齢者の生きがいづくりの推進

- ①高齢者の豊富な知識と経験を貴重な財産としてとらえ、シルバー人材センターをはじめとした働く機会や活動の場の提供に努め、高齢者の雇用を促進します。
- ②高齢者が自立し、充実した生活がおくれるよう、趣味・学習の講座やサークル活動の場として、老人憩の家や公民館を活用するとともに、各地域へ講師を派遣するなど、高齢者の生きがいづくりに努めます。
- ③生き生きプラザ斑鳩を保健・福祉の中心施設として活用し、高齢者の健康増進、介護予防の支援などに努めます。

### 2.地域包括ケアシステム\*の構築

- ①今後、支援ニーズが多様化、複雑化することが予想される高齢者福祉のニーズを見据え、支援を必要とする高齢者とその家族がいち早く適切なネットワークにつながるができるように、地域包括支援センターが住民に身近な相談・支援機関として親しまれるように浸透をはかるとともに、各種関係機関との連携によりセンター機能を強化し、地域包括ケアシステム\*の構築を推進します。
- ②認知症に関する理解を深めるための普及啓発や早期発見・早期治療・重度化遅延にむけた取組みをすすめます。
- ③誰もが住み慣れた地域でくらし続けることができるよう、在宅で介護を受けられる環境の整備と情報提供に努め、高齢者の権利擁護に取り組みます。
- ④高齢者が互いに支え合えるしくみづくりにむけ、老人クラブ連合会、民生委員、小地域福祉会など、連携の強化に努め、地域福祉活動の充実をはかります。
- ⑤医療と介護の連携をすすめ、必要な医療を受けながら在宅生活を継続できる環境や、「もしも」のときも必要な支援や医療を円滑に受けられる環境を整えます。
- ⑥社会福祉協議会と連携し、住民のボランティア意識の高揚をはかり、ボランティア情報の収集・提供、組織化の支援、活動の場の提供など、より活動しやすい環境づくりをすすめます。
- ⑦高齢者の総合的な窓口である地域包括支援センターにおいて、日常生活でさまざまな問題を抱える高齢者を支え、介護に関する相談や心配ごとなどに応じ、高齢者をあらゆる角度から支援します。
- ⑧介護保険事業の推進をはかるため、介護保険事業にかかわるサービス基盤の整備や、人材の確保を行い、住民の要望に応えられる体制づくりに努めます。

基本  
目標  
1基本  
目標  
2基本  
目標  
3基本  
目標  
4基本  
目標  
5基本  
目標  
6基本  
目標  
7重点  
施策資料  
編

# 13

## 障害者福祉の充実

### [ 課題 ]



- 障害の有無にかかわらず、誰もが身近な地域で心豊かにくらすためには、住民一人ひとりが障害への理解を深め、共生社会の実現にむけた取組みをすすめていくことがより重要です。
- 核家族化や介護する家族の高齢化等による家族介護の力の低下や、親亡き後の問題に対し、障害者の福祉、医療、教育、雇用に関わる関係者や関係機関と相互に連携し、地域が一体となって支える体制の整備にむけた取組みをすすめていく必要があります。
- 発達上の課題を抱える子どもの相談および支援のため、情報や対応が途切れることなく提供できるよう、行政、専門家、教育機関などが乳幼児期から子どもの発達に関して一貫して対応していくことが必要です。
- 障害者が必要とする支援や社会参加のニーズが一層多様化している状況をふまえ、事業主には職場における合理的配慮\*の提供が義務化され、多様な働き方への対応が求められており、障害の特性や能力に応じた就労機会の確保へとつなげていく必要があります。

### [ 目標とする姿 ]

障害の有無にかかわらず健常者と同様の生活と活動(ノーマライゼーション\*)を行い、社会から孤立や排除されずに、それぞれの存在と役割を有する(ソーシャルインクルージョン\*)のなかで、誰もが身近な地域で心豊かにくらしています。

### [ 施策体系 ]

1. 地域共生社会\*の実現にむけた取組みの推進
2. 障害福祉サービスの充実
3. 障害のある子どもへの支援の充実

### [ 政策指標 ]

障害者に対する支援についての住民満足度指数



## 【主な取組み】

### 1.地域共生社会\*の実現にむけた取組みの推進

- ①障害者が生活にゆとりとふれあい、生きがいを感じられるよう、就労や地域活動、レクリエーションなどあらゆる場面に参加できる社会をめざします。
- ②合理的配慮\*の普及・啓発に努め、障害を理由とする差別の解消にむけた取組みをすすめます。
- ③障害者が働き、自立できるように、相談機能の強化をはかるとともに、あらゆる機会を通じて、就労機会の拡充や新たな業務の開拓をすすめます。また、既存の地域活動支援センターの運営支援や活動の充実をはかります。
- ④障害者の高齢化や親亡き後の課題に対応するため、成年後見制度の周知をはじめ、権利擁護に関して身近に相談ができる体制の充実をはかります。

### 2.障害福祉サービスの充実

- ①障害があっても社会的に自立した生活がおくれるよう、サービスの質の向上に努めるなど支援体制を充実します。
- ②障害者が住み慣れた地域で安心してくらせるよう、広域連携による地域生活支援拠点機能の整備をすすめます。
- ③地域住民と保健・福祉などのさまざまなサービス事業者や相談支援事業所との連携により、地域ケア体制づくりをすすめます。

### 3.障害のある子どもへの支援の充実

- ①幼児期の集団での遊びを通して、身体の発達、知的活動、社会生活などの調和的な発達をはかるため、療育教室を開催します。
- ②児童の健やかな発達を促すため、子どもの行動理論や具体的な対応の仕方を学ぶペアレントトレーニングを実施します。
- ③発達に遅れや偏りのある子どもへの相談支援を強化し、子どもの発達に応じた障害児福祉サービスの提供を行います。

基本  
目標  
1基本  
目標  
2基本  
目標  
3基本  
目標  
4基本  
目標  
5基本  
目標  
6基本  
目標  
7重点  
施策資料  
編

## 14

## 安定した社会保障制度の運営

## 〔課題〕



- 人口減少にともなう被保険者数の減少などにより、国民健康保険税収が減少する一方、高齢化等による一人あたりの医療費の増加が見込まれることから、国民健康保険制度の安定的な運営が求められています。
- 医療保険等の社会保障制度については、住民が制度を理解できるよう周知に努める必要があります。
- 生活困窮者に対しては、関係機関と連携し、その状況に応じた包括的・早期的な支援が求められています。
- 社会構造の変化等により、従来の福祉のあり方だけでは必要な支援が行き届かない、いわゆる「制度の狭間」にある課題解決にむけた取組みが求められています。
- 8050問題\*やヤングケアラー\*等、複雑化・複合化する地域生活課題を解決するためには、多機関連携の推進が必要であり、各部所分野横断的な支援や対応力の向上が求められています。

## 〔目標とする姿〕

健全財政の下、安定的な社会保障制度が運営され、必要とする人が安心して支援を受けることができる制度が構築されています。

子どもから大人、高齢者、障害者など、すべての人が支え合いながら地域で共に生きていく「地域共生社会\*」が形成されています。

## 〔施策体系〕

1. 適切かつ健全な社会保障制度の運営

2. 多様なつながりと支え合いによる地域福祉の強化

## 〔政策指標〕

社会保障制度の運営についての住民満足度指数

実績値(R6)

0.89

目標値(R12)



## 【主な取組み】

### 1.適切かつ健全な社会保障制度の運営

- ①国民健康保険の財政運営の責任主体である県との連携を強化し、医療費の適正化に取り組みます。
- ②国民健康保険税の収納率の向上に努め、制度の適正な運営をはかります。
- ③被保険者の健康づくりや健康管理に対する意識の啓発をすすめるとともに、疾病予防にむけた施策を充実します。
- ④国の医療保険制度の改正については、県その他関係機関と連携しながら、適正に対応します。
- ⑤高齢者や子ども、障害者・児、ひとり親家庭などへの医療費助成を充実させるとともに、医療制度のしくみや内容の周知をはかり、住民の健康保持と福祉の向上に努めます。
- ⑥国民年金制度の充実と安定化を国に要請するとともに、制度に対する理解を求めめるための啓発活動や相談事業の充実をはかります。

### 2.多様なつながりと支え合いによる地域福祉の強化

- ①生活困窮世帯に対して相談支援を行い、就学援助や就労あっせんなどの自立支援を充実させるとともに、必要な世帯には速やかに生活保護を適用し、有効に活用できるよう制度の充実を関係機関に働きかけます。
- ②ひきこもりや孤独死、ごみ屋敷など、制度の狭間にある課題をはじめとした地域住民の複雑化・複合化する支援ニーズに対応するため、社会福祉協議会、民生児童委員、地域のボランティア、福祉関係団体等との連携により重層的な支援体制づくりをすすめます。

基本  
目標  
1基本  
目標  
2基本  
目標  
3基本  
目標  
4基本  
目標  
5基本  
目標  
6基本  
目標  
7重点  
施策資料  
編

# 15

## 生涯学習・生涯スポーツの推進

### [ 課題 ]



- ライフスタイルが多様化するなか、住民の生涯学習に対する意欲は高まっており、そのニーズも広範囲かつ多岐にわたっています。また、自己実現のみならず、学習の成果を適切に生かすことが求められています。
- 図書館は、身近に本と親しめる場であり、今後も多様な図書館サービスの提供、公民連携（官民連携）\*やボランティアとの協働の推進が求められています。
- スポーツは、心身の発達や健康増進、豊かな人間性の育成や交流促進に欠かせないものであり、競技スポーツのみならず、住民の健康増進と心豊かなくらしのために、生涯にわたりスポーツを楽しめる環境づくりが必要です。
- 中学校の部活動を地域に移行する動きがすすむなか、地域移行が「単なる受け皿」にとどまることなく、その後も地域でスポーツを続けるきっかけとなるしくみづくりが求められます。

### [ 目標とする姿 ]

住民が主体的にあらゆる機会を通して学び、その学んだ成果を地域づくりに生かし地域の担い手となる人材が育成されるなど、それぞれの地域で生涯学習が活発に行われています。

子どもから大人、高齢者、障害者など誰もが、生涯を通じて住民がスポーツに親しみ、心身とも健康で豊かに生き生きとスポーツを楽しんでいます。

### [ 施策体系 ]

1.生涯にわたって学べる環境づくり

2.生涯スポーツの推進

### [ 政策指標 ]

生涯学習や生涯スポーツの取組みについての住民満足度指数

実績値 (R6)

0.92



目標値 (R12)



## 【主な取組み】

### 1.生涯にわたって学べる環境づくり

- ①多様化する住民の学習ニーズに対応し、年齢や障害の有無などに関わらず、誰もが気軽に参加でき、生きがいつくりにつながるよう、学習機会の拡充と内容の充実をはかります。
- ②斑鳩の歴史と文化を生かしたプログラムの開発や、グローバル化や情報化などの時代背景に対応した学習内容の充実をはかります。
- ③住民が生涯学習の成果を積極的に社会貢献やまちづくりに生かすしくみづくりや、身近な生涯学習の場である町立図書館、中央・東・西公民館が利用者にとって、快適・魅力的な施設であり続けるよう、設備や機能の充実をはかります。
- ④子どもから大人、高齢者、障害者など誰もが気軽に図書館を利用し本に親しめるよう、電子書籍や大活字本の導入などを含めた時代のニーズにあった蔵書の充実をはかるとともに、国・県・市町村の図書館などとのネットワーク化をはかり、図書館機能の充実に取り組みます。

### 2.生涯スポーツの推進

- ①誰もが楽しみながら体力づくりができるよう、総合型地域スポーツクラブ等との連携をはかり、子どもから大人、高齢者、障害者など誰もが地域での継続的なスポーツ参加を促進するしくみづくりに努めます。
- ②マラソン大会をはじめ、スポーツ、レクリエーションを通じた交流活動をすすめます。
- ③総合型地域スポーツクラブ等との連携強化をはかり、スポーツ人口の拡充、次世代の指導者やリーダーとなる人材の発掘・養成などをすすめます。
- ④体育館やグラウンドなどのスポーツ施設を身近なスポーツ拠点として活用できるよう、設備の充実をはかります。

基本  
目標  
1基本  
目標  
2基本  
目標  
3基本  
目標  
4基本  
目標  
5基本  
目標  
6基本  
目標  
7重点  
施策資料  
編